

# 2020年度中間期決算参考資料

2020年11月



# 1. 2020年度中間期損益の状況

(単位：百万円)

項 目	No.	2019年度 中間期	2020年度 中間期	前年比	備 考	
業務粗利益	1	13,671	14,114	+443		
資金利益	2	11,969	11,940	△ 29	貸出金平残	+9.2% (+1,609億円)
資金運用収益	3	12,168	12,148	△ 20	貸出金平残【除く地公体・政府系】	+5.7% (+800億円)
貸出金利息	4	9,190	9,275	+85		
(貸出金利息【除く地公体・政府系】)		(8,816)	(8,937)	(+121)	貸出金利回り	1.051% ⇒ 0.971% (△0.080%)
有価証券利息配当金	5	2,870	2,772	△ 98	貸出金利回り【除く地公体・政府系】	1.258% ⇒ 1.206% (△0.052%)
その他	6	107	99	△ 8	預金等平残	+9.2% (+2,139億円)
資金調達費用	7	199	207	+8	預金等利回り	0.014% ⇒ 0.012% (△0.002%)
預金等利息	8	163	156	△ 7		
その他	9	36	51	+15	総資金利鞘	0.13% (前年比 +0.02%)
役務取引等利益	10	1,400	1,647	+247		
役務取引等収益	11	3,381	3,534	+153	預かり金融資産 +82、法人ビジネス関係 +68	
" 費用	12	1,981	1,886	△ 95		
その他業務利益	13	301	526	+225	投信売却 +318	
経費	14	10,643	10,253	△ 390	物件費 △304、人件費 △123、税金 +37	
実質業務純益	15	3,027	3,860	+833		
クレジットコスト	16	1,153	1,386	+233	大口ランクダウンの発生	
一般貸倒引当金繰入額	17	△ 67	△ 917	△ 850	クレジットコスト	= 0.14% (前年比+0.01ポイント)
個別 " "	18	1,162	2,248	+1,086	貸出金平残	
債権売却損等	19	57	55	△ 2		
貸倒引当金戻入益 (△)	20	-	-	-		
その他の臨時損益	21	△ 159	△ 152	+7		
経常利益	22	1,714	2,322	+608		
特別損益	23	△ 14	△ 223	△ 209	+要因：固定資産売却益等 +71、-要因：固定資産減損等 △286	
税引前当期純利益	24	1,699	2,098	+399		
法人税等・法人税等調整額	25	593	655	+62		
当期純利益	26	1,105	1,443	+338		
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	△ 216	513	+729		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 2. 業務純益補足説明

(単位：百万円)

項目	No.	2019年度中間期	2020年度中間期	前年比	備考
業務純益 (2+12)	1	3,095	4,778	1,683	
実質業務純益 (3+11)	2	3,027	3,860	833	
コア業務純益	3	2,431	3,419	988	
資金利益	4	11,969	11,940	△ 29	
役務取引等利益	5	1,400	1,647	247	法人ビジネス、預かり金融資産等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	△ 294	85	379	
外国為替売買損益	7	△ 335	3	338	外貨調達コスト低下
その他	8	40	81	41	
経費 (△)	9	10,643	10,253	△ 390	
コア業務純益 (投信解約損益除く)	10	2,254	3,293	1,039	投信解約損益 2019年度：177、2020年度：126
国債等関係損益 (5勘定戻)	11	596	441	△ 155	
一般貸倒引当金繰入額 (△)	12	△ 67	△ 917	△ 850	
臨時損益	13	△ 1,380	△ 2,455	△ 1,075	
うち 株式等関係損益 (3勘定戻)	14	0	258	258	
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	1,220	2,303	1,083	大口ランクダウンの発生
経常利益 (1+13)	16	1,714	2,322	608	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

# 3. 増減益要因分析表（前年度対比）

（単位：百万円）

	2019年度 中間期	2020年度 中間期	前年比	増減要因
経常収益	16,741	16,971	+230	+要因：株式等売却益 +422、役務収益 +153、貸出金利息 +85、子会社配当 +77 △要因：回信配当 △177、債券売却益等 △165、有価証券利息 △98
経常利益	1,714	2,322	+608	+要因：経費 △390、役務利益 +247、市場部門 +357、預貸金利息 +92 △要因：与信費用 +233、回信配当 △177、退職給付数理差異償却 +97
うち				
△ 預貸金利息収支差	9,027	9,119	+92	
貸出金利息	9,190	9,275	+85	
(貸出金利息〔除く地公体・政府系〕)	(8,816)	(8,937)	(+121)	増減要因分析：残高要因 +495、利回り要因 △374
△ 預金等利息	163	156	△7	増減要因分析：残高要因 +14、利回り要因 △21
△ 役務取引等利益	1,400	1,647	+247	
△ 役務取引等収益	3,381	3,534	+153	預かり金融資産 +82、法人ビジネス関連 +68
△ 役務取引等費用	1,981	1,886	△95	
△ 市場部門	2,786	3,143	+357	
有価証券利息配当金	2,566	2,391	△175	政策株式 +87、国債 △144、投資信託 △130
債券等売却損益	592	859	+267	投資信託 +318
特定金銭信託	△0	5	+5	
外貨調達コスト	372	112	△260	
△ 経費	10,643	10,253	△390	物件費 △304、人件費 △123、税金 +37
△ クレジットコスト	1,153	1,386	+233	大口要因有り
株式売却損益・減損	0	128	+128	
特別損益	△14	△223	△209	+要因：固定資産売却益 +71、-要因：固定資産減損 +286
税引前当期純利益	1,699	2,098	+399	
法人税等・法人税等調整額	593	655	+62	
当期純利益	1,105	1,443	+338	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※要因は主なもののみ記載しております。

# 4. 対顧客利益の推移

(単位：百万円)

項目	No.	2017年度		2018年度		2019年度		【参考】 2020年度9月中間期 (実績)	
			前年比		前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-6)	1	△ 2,407	+612	△ 1,731	+676	△ 239	+1,492	513	+729
預貸金利息	2	18,012	+296	18,240	+228	18,058	△ 182	9,119	+92
貸出金利息	3	18,443	+100	18,559	+116	18,379	△ 180	9,275	+85
預金等利息	4	431	△ 195	319	△ 112	321	+2	156	△ 7
役務利益	5	2,257	△ 239	2,271	+14	2,956	+685	1,647	+247
経費	6	22,676	△ 555	22,242	△ 434	21,253	△ 989	10,253	△ 390

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

# 5. 経常収益・利益の推移

【単体】 (百万円)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2020年9月期	16,971	230	2,322	608	1,443	338
2019年9月期	16,741	△ 3,805	1,714	△ 286	1,105	△ 623
2018年9月期	20,546	3,158	2,000	△ 44	1,728	△ 394
2017年9月期	17,388	△ 6,880	2,044	△ 304	2,122	269
2016年9月期	24,268	207	2,348	△ 2,385	1,853	△ 1,264
2015年9月期	24,061	3,582	4,733	413	3,117	△ 9
2014年9月期	20,479	△ 1,798	4,320	△ 776	3,126	△ 234
2013年9月期	22,277	1,409	5,096	4,300	3,360	3,279
2012年9月期	20,868	726	796	△ 4,006	81	△ 2,792
2011年9月期	20,142	△ 732	4,802	△ 83	2,873	799
2010年9月期	20,874	△ 738	4,885	1,363	2,074	△ 68

経常収益：2018年9月期以来2期ぶりの増収

経常利益：2015年9月期以来5期ぶりの増益

中間純利益：2017年9月期以来3期ぶりの増益

【連結】 (百万円)

	連結経常収益		連結経常利益		連結中間純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2020年9月期	20,785	266	2,341	514	1,329	253
2019年9月期	20,519	△ 3,706	1,827	△ 166	1,076	△ 533
2018年9月期	24,225	6,467	1,993	△ 453	1,609	△ 534
2017年9月期	17,758	△ 6,731	2,446	△ 168	2,143	275
2016年9月期	24,489	68	2,614	△ 2,576	1,868	△ 1,272
2015年9月期	24,421	3,453	5,190	410	3,140	△ 9
2014年9月期	20,968	△ 1,817	4,780	△ 724	3,149	△ 235
2013年9月期	22,785	1,558	5,504	4,599	3,384	3,287
2012年9月期	21,227	827	905	△ 4,061	97	△ 2,793
2011年9月期	20,400	△ 838	4,966	△ 192	2,890	797
2010年9月期	21,238	△ 729	5,158	1,563	2,093	△ 69

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

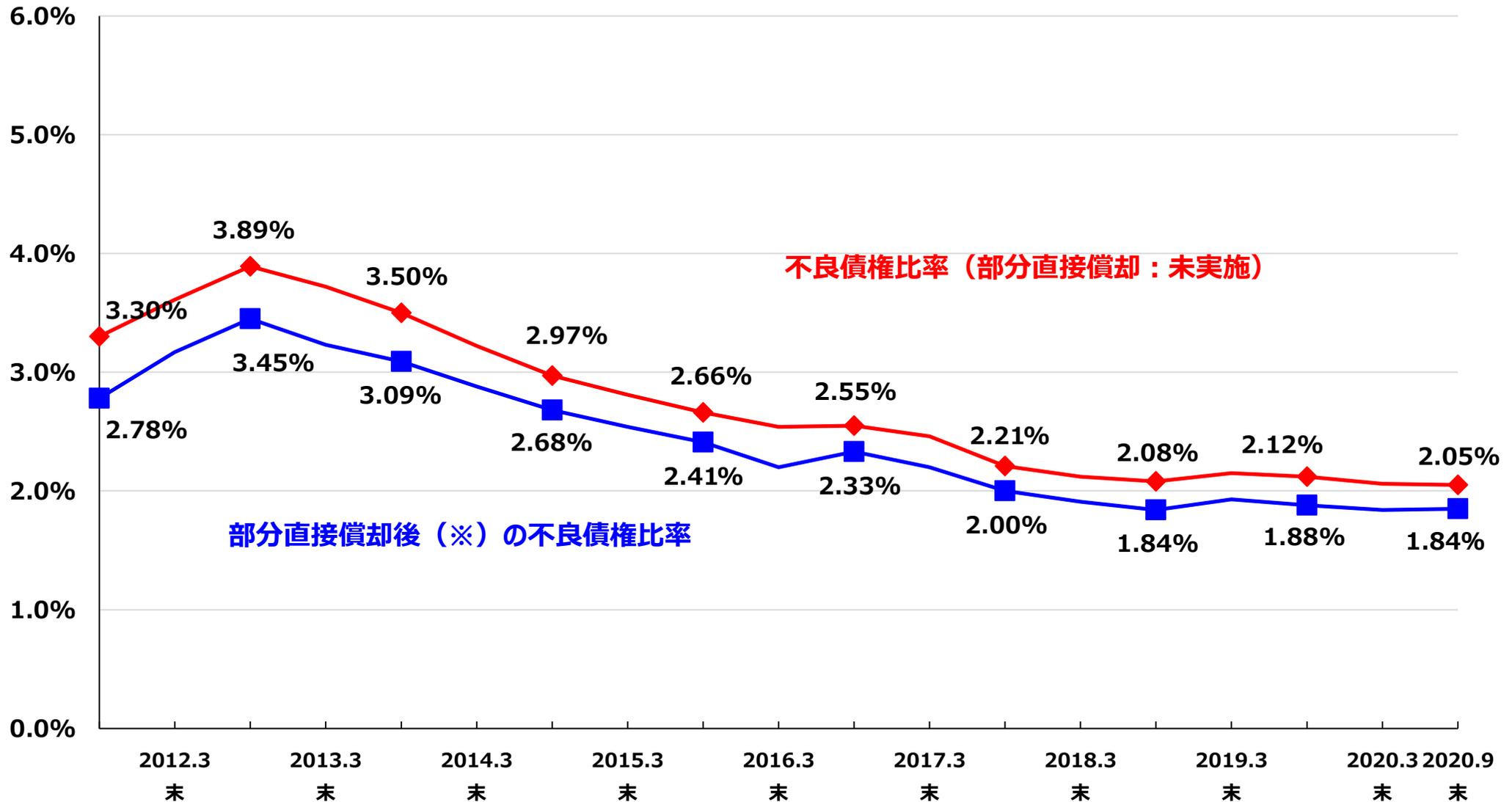
※連結中間純利益の欄は、「親会社株主に帰属する中間純利益」を記載しております。

# 6. 連結損益の状況

(単位：百万円)

	連結実績				連単差 (2020年度中間期)			
	2019年度 中間期	2020年度 中間期	前年比	備考	①単体	②連結	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	20,519	20,785	+266	◇増加要因 ・単体経常収益 +230 ・子会社売上高 +48  ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の増加 △12	16,971	20,785	+3,814	・子会社売上高 +4,729  ・連結相殺 △915 (うち 子会社配当 △382)
経常利益	1,827	2,341	+514	◇増加要因 ・単体経常利益 +608 ・子会社経常利益 +48  ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の増加 △142	2,322	2,341	+19	・子会社経常利益 +439 ・連結調整 △38  ・子会社配当 △382
当期利益	1,076	1,329	+253	◇増加要因 ・単体当期純利益 +338 ・子会社当期純利益 +25  ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の減少 △110	1,443	1,329	△114	・子会社当期純利益 +278 ・連結調整 △10  ・子会社配当 △382

# 7. 不良債権比率の推移



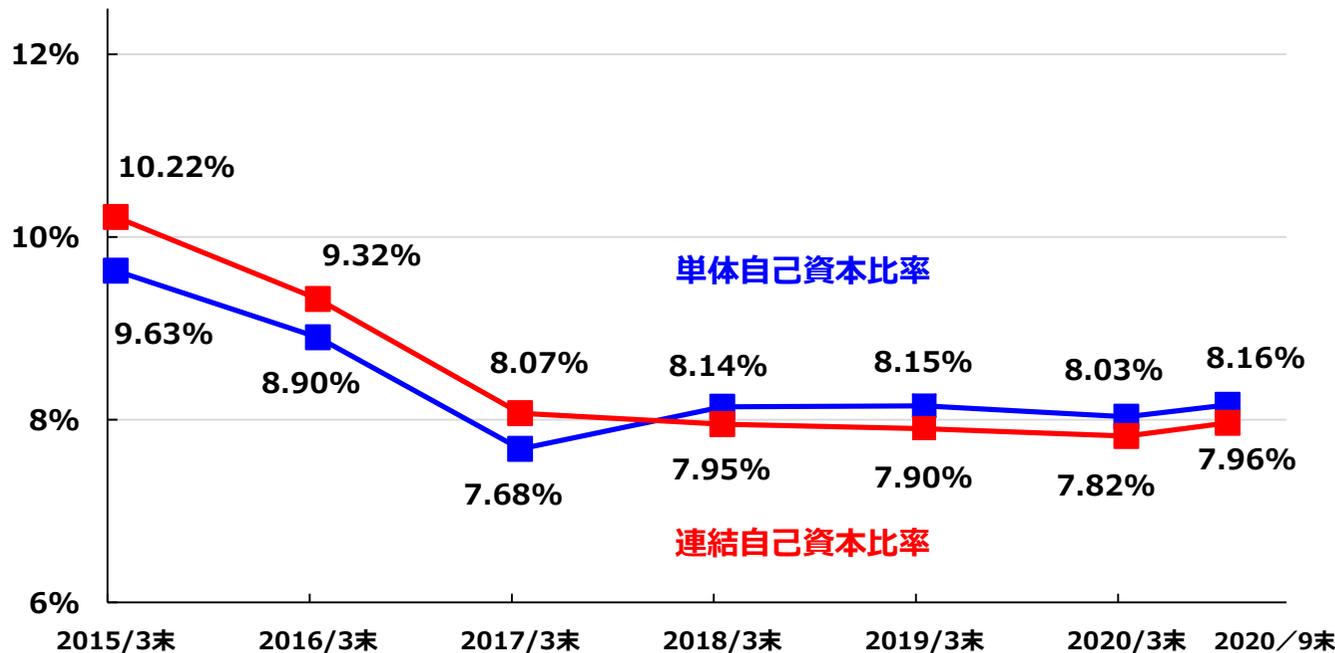
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額 (IV分類金額) を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

# 8. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)			【連結】		(単位：百万円)		
		2020/3末	2020/9末	(2020/3末比)	2020/3末	2020/9末	(2020/3末比)		
自己資本	A	108,360	108,447	+87	105,841	106,095	+254		
リスクアセット	B	1,348,997	1,328,847	△ 20,150	1,353,187	1,332,060	△ 21,127		
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.03%	8.16%	+0.13%	7.82%	7.96%	+0.14%		



### 【自己資本】

2020年9月期は2020年3月期と比べ利益の積み上げにより、自己資本が増加しました。

### 【リスクアセット】

2020年9月期は2020年3月期と比べ、リスクアセットの大部分を占める貸出金において、残高が増加した一方で、平均リスクウェイトが低下した事により、リスクアセットは減少しました。

※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

### <資本政策の基本方針>

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。